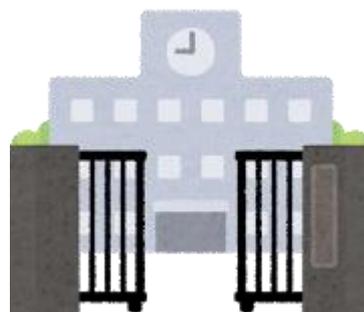


今日は道徳「おはよう」を読んで挨拶について考えました。

道徳の教科書 P15 にあった挨拶。『急に立ち止まり、帽子を脱いで「おはようございます。」と、挨拶しました。』とあります。立派な挨拶の仕方ですね。「明るく元気な声で挨拶しましょう!」と小さな頃からずっと言われている言葉だと思います。でも…「実は挨拶って苦手」そういう人もいるのではないのでしょうか。先生も小さな頃はそうでした。なんとなく恥ずかしくて。

そんな自分が変わったのは中学生の頃でした。部活(ソフトボール部でした!)に入って大きな声をたくさん出すようになったら、挨拶するときの恥ずかしさも吹き飛んでいきました。

みなさんは今、大人になっていく途中です。最初は目を合わせてうなずくだけでもいいじゃないですか。ささやくような声で「おはよう」でもいいじゃないですか。いつか、人の心を動かし明るくするようなあいさつができるようになると思います。今は心を通わす『反応』をしてください。そして、そんな小さな反応を認めてあげられる仲間たちでいてください。そうすればみんなが安心して「おはよう」と言えるあたたかい集団でいられるのではないのでしょうか。みんなに「おはよう」と言える日常が待ち遠しいです。



1年5組担任